

超速硬コンクリート用パック ジェットパック

九州版

ジェットパックとは

超速硬コンクリートの現場練りには、単位水量、骨材、現場計量の手間など様々な問題があります。これらの問題を一挙に解決するために使用材料のすべてを吟味・計量済のパックにしたものが「ジェットパック」です。

ジェットパックの特長

- ジェットパック用に厳選吟味された各材料は計量・包装されていますので、品質が安定します。
- 1セットあたりの練上り量は約25リットルです。
- 3時間で 24N/mm² 以上の強度が得られます。(20℃室内試験)
- 長期にわたって安定した強度を示します。
- 浮き水（ブリーディング）がほとんどなく打設後、沈下がありません。
- 材齢初期の表面ひび割れ抑制のため高機能性特殊短繊維が混入されています。

ジェットパックの用途

マンホール等の高上げ・側溝工事
伸縮装置
上下水道の配管、配線工事
機械等の据付工事等の緊急工事



※荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

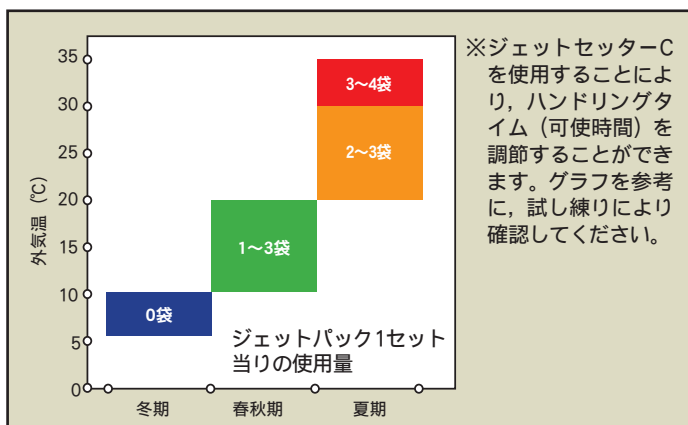


ジェットパックの標準配合例

配合 (kg)	季節	パック-1		パック-2		パック-3		練上り量 (ℓ)
		セメント	細骨材	粗骨材	水	減水剤	遅延剤 (添付)	
袋	夏	28		26		4.5~5.0		約25
	冬					4.0~4.5		

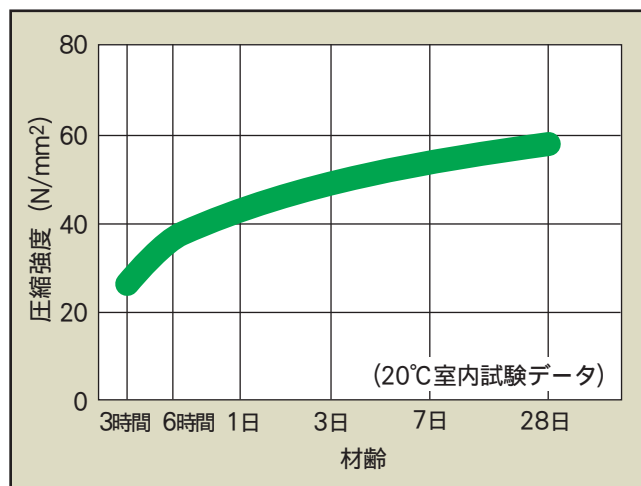
- 各パックの入れ目は製造工場によって若干変わります。
- 気温やミキサーの性能によって、練り上がりコンクリートのコンシステンシーが変化します。
- 練り上がりコンクリートが固い場合は、付属の調整用パック3 (300g) により調整してください。
- 気温が低い場合には、練り上がりコンクリートが柔らかくなる傾向がありますので、パック3の使用量を適宜減じてご使用願います。
- ジェットセッターCは外気温に応じた適量をパック3に予め溶かしてご使用ください。

ジェットセッターC (遅延剤)の外気温別の添加率



注1) 他の遅延剤と混ぜないでください。
注2) 遅延剤の過剰添加は圧縮強度の低下を招きます。必ず外気温に応じて適量を添加してください。

ジェットパックの材齢と圧縮強度の関係



ジェットパックの使用法

傾胴型ミキサ

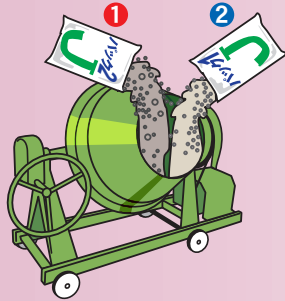
ジェットセッターC(遅延剤)の投入

●外気温に応じてバック-3にジェットセッターC(遅延剤)を投入し、ふたをして、バック-3をよく振って、よくかき混ぜ溶解してください。



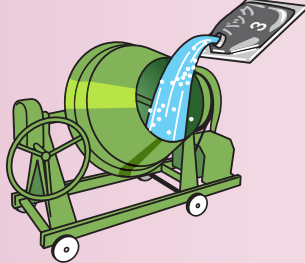
バック-2, バック-1を傾胴型ミキサへ投入

●傾胴型ミキサにバック-2, バック-1の順に開封投入します。(投入順序は厳守してください。)



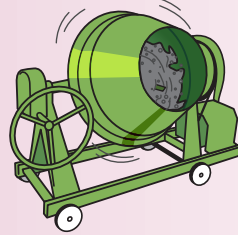
バック-3を傾胴型ミキサへ投入

●バック-2, バック-1の投入後、傾胴型ミキサを回転させ徐々にバック-3を投入してください。
注) 急速にバック-3を投入すると、混練不良が発生する場合があります。



約5分間練り混ぜ実施

●約5分間練り混ぜます。練り混ぜ3分後ミキサを一旦止めてミキサの内部等についた材料を掻き落としその後、2分程度練り混ぜます。
●練り上がったコンクリートが固い場合は、付属の「調整用バック3」により調節してください。



練り上がり

●ジェットパック1セットあたりの出来上がり量は約25リットルです。直ちに施工箇所に打ち込みます。



コンクリート用パン型ミキサ

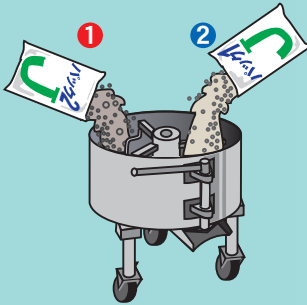
ジェットセッターC(遅延剤)の投入

●外気温に応じてバック-3にジェットセッターC(遅延剤)を投入し、ふたをして、バック-3をよく振って、よくかき混ぜ溶解してください。



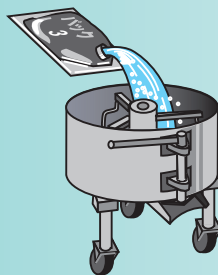
バック-2, バック-1をパン型ミキサへ投入

●パン型ミキサにバック-2, バック-1の順に開封投入します。(投入順序は厳守してください。)



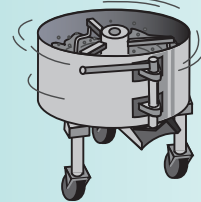
バック-3をパン型ミキサへ投入

●バック-2, バック-1の投入後、パン型ミキサを回転させ徐々にバック-3を投入してください。
注) 急速にバック-3を投入すると、混練不良が発生する場合があります。



約3分間練り混ぜ実施

●約3分間練り混ぜます。練り混ぜ2分後ミキサを一旦止めてミキサの内部等についた材料を掻き落としその後、1分程度練り混ぜます。
●練り上がったコンクリートが固い場合は、付属の「調整用バック3」により調節してください。



練り上がり

●ジェットパック1セットあたりの出来上がり量は約25リットルです。直ちに施工箇所に打ち込みます。



暑中対策

日平均気温が25℃以上になることが予想される場合、以下の対策を行ってください。

- 材料は直射にあたらないように保管してください。
- バック3を冷却し練り上がり温度が35℃を超えないようにしてください。
- 打設後の養生は直射、風等による乾燥がおこらないよう施工後すぐにシート養生等を行ってください。また、打設箇所の温度を急激に上昇させないようにしてください。

寒中対策

日平均気温が4℃以下になることが予想される場合、以下の対策を行ってください。

- 氷雪のついてる材料は、そのまま使用しないでください。
- 打ち継ぎ目のコンクリートが凍結している場合は、適当な方法でこれを溶かし、打ち継いでください。
- 材料を加熱する場合は、バック3を加熱し、練り上がり温度が5℃以上になるようにしてください。
- 打設箇所の温度を急激に低下させないようにしてください。
- 寒中環境下での強度管理用試験体は、放熱により構造物強度と大きな差異を生じますので、構造体コンクリートと同等の温度履歴を受けるよう、養生箱を使用してください。

使用上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。直接、皮膚に触れたり、目に入らないようにしてください。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。
- セメントの容器(袋)は完全防水仕様ではありませんので、保管は屋内で行ってください。屋外に仮置きする場合は、パレット等でかさ上げし防水シートで覆ってください。開封したセメントは、なるべく早く使用してください。
- 他のセメントと混ぜないでください。

・詳しくは技術資料をご確認ください。
・物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。

・使用および取扱の前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
・本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2-10-2(札幌HSビル10F)
東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F)
北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(5211)4752 Fax 03(3221)5624
電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は